

## 特別調査 「2017年（平成29年）の経営見通し」

問1. 貴社では、2017年の日本の景気をどのように見通していますか。次の中から1つ選んでお答え下さい。

(単位：件・%)

	1.非常に良い	2.良い	3.やや良い	4.普通	5.やや悪い	6.悪い	7.非常に悪い
合計(構成比)	0.0	0.0	9.8	45.1	28.3	14.5	2.3
合計件数	0	0	17	78	49	25	4
製造	0	0	5	18	10	4	1
卸売	0	0	0	3	4	0	0
小売	0	0	4	24	17	8	1
サービス	0	0	1	15	11	2	2
建設	0	0	7	18	7	11	0

\*平成29年のわが国の景気見通しについては、「良い」(「非常に良い」・「良い」・「やや良い」の合計)と回答する割合が9.8%、「悪い」(「やや悪い」・「悪い」・「非常に悪い」の合計)が45.1%となった。「良い－悪い」は△35.3と、1年前の調査(△40.4)と比べ、5.1ポイントの改善となった。

問2. 貴社では、2017年の自社の業況(景気)をどのように見通していますか。次の中から1つ選んでお答え下さい。

(単位：件・%)

	1.非常に良い	2.良い	3.やや良い	4.普通	5.やや悪い	6.悪い	7.非常に悪い
合計(構成比)	0.0	1.7	11.0	42.8	29.5	13.9	1.1
合計件数	0	3	19	74	51	24	2
製造	0	2	4	19	10	3	0
卸売	0	0	0	2	4	0	1
小売	0	1	4	22	17	9	1
サービス	0	0	2	16	9	4	0
建設	0	0	9	15	11	8	0

\*平成29年の自社の業況見通しについては、「良い」(「非常に良い」・「良い」・「やや良い」の合計)と回答する割合が12.7%、「悪い」(「やや悪い」・「悪い」・「非常に悪い」の合計)が44.5%となった。「良い－悪い」は△31.8となり、1年前の調査(△35.3)と比べ、3.5ポイントの改善となった。

問3. 2017年において貴社の売上額の伸び率は、2016年に比べておおよそどのくらいになると見通していますか。次の中から1つ選んでお答え下さい。

(単位：件・%)

	1. 30%以上の増加	2. 20~29%の増加	3. 10~19%の増加	4. 10%未満の増加	5. 変わらない	6. 10%未満の減少	7. 10~19%の減少	8. 20~29%の減少	9. 30%以上の減少
合計(構成比)	0.0	1.7	4.1	9.8	49.7	18.5	11.0	2.9	2.3
合計件数	0	3	7	17	86	32	19	5	4
製造	0	3	3	3	18	6	4	1	0
卸売	0	0	0	1	3	1	2	0	0
小売	0	0	1	5	28	15	4	1	0
サービス	0	0	1	2	16	6	5	0	1
建設	0	0	2	6	21	4	4	3	3

\*平成29年の自社の売上額見通し(伸び率)を「増加-減少」で見ると、1年前の調査(△20.8)に比べて1.7ポイント上昇の△19.1となり、前年とほぼ変わらない見通しとなっている。

問4. 貴社では、自社の業況が上向き転換点をいつ頃になると見通していますか。次の中から1つ選んでお答え下さい。

(単位：件・%)

	1. すでに上向いている	2. 6か月以内	3. 1年後	4. 2年後	5. 3年後	6. 3年超	7. 業況改善の見通しは立たない
合計(構成比)	4.6	4.0	15.6	2.9	5.8	13.3	53.8
合計件数	8	7	27	5	10	23	93
製造	1	5	8	1	0	4	19
卸売	0	0	1	0	0	3	3
小売	1	1	6	2	3	5	36
サービス	2	0	4	2	1	5	17
建設	4	1	8	0	6	6	18

\*自社の業況が上向き転換点については、「すでに上向いている」とする回答割合が4.6%で、前年(6.4)比1.8ポイント下降した。また、「6ヶ月以内」や「1年後」とする比較的前向きな回答の割合は、1年前(12.1)比7.5ポイント上昇し19.6%となった。一方、「業況改善の見通しは立たない」とする回答割合は、前年(59.0)から5.2ポイント減少したものの、53.8%と全体の5割以上を占め引続き厳しさが窺える結果となった。

問5. 日本銀行は、景気を押し上げる目的で、マイナス金利政策を実行しています。貴社では経営上、どのような影響を受けていますか。以下の中から最も当てはまるものを1つ選んでお答え下さい。

(単位：件・%)

	1. 良い影響がある	2. やや良い影響がある	3. どちらともいえない	4. やや悪い影響がある	5. 悪い影響がある	6. よくわからない
合計(構成比)	1.1	3.5	42.2	6.9	8.7	37.6
合計件数	2	6	73	12	15	65
製造	0	2	16	2	2	16
卸売	0	2	4	0	0	1
小売	1	0	21	4	5	23
サービス	1	0	11	3	3	13
建設	0	2	21	3	5	12

\*日本銀行のマイナス金利政策実行に伴う経営上の影響については、「良い影響がある」は1.1%、「やや良い影響がある」は3.5%にとどまった。対して、「やや悪い影響がある」が6.9%、「悪い影響がある」が8.7%となった。一方、「どちらともいえない」が42.2%、「よくわからない」が37.6%と、約8割の企業がマイナス金利政策の影響を受けていないと感じている結果となった。

### ～調査員のコメントから～

- ふるさと納税返礼品の取り扱いにより売り上げ増加している。(製造業)
- 秋サケの不漁により仕入れ値高く、販売価格も高騰。注文は大幅に減少。(製造業)
- 原材料価格上昇、販売価格に転嫁できず収益減少。(製造業)
- 一部商品を受注生産に変更し、生産ロスを減少させている。(製造業)
- 公共工事主体の稼働。台風・低気圧の影響で工期やや遅れている。(建設業)
- 工事高の減少で、従業員の削減を進めている。(建設業)
- 官公庁主体の公共工事で稼働は順調、継続的な大型工事でも今後も安定。(建設業)
- 工事の減少で事業縮小。数年内の廃業も検討している。(建設業)
- 漁業不振で取扱量減少したが、価格上昇で、売上は前年比増加。(卸売業)
- 不漁で魚部門の売上減少するも、他部門の事業拡大により売上は安定推移。(卸売業)
- 近隣に同業者多く競争は激化、高齢となり事業承継を検討中。(小売業)
- 新事業をスタートさせた。順調な滑り出しとなっている。(小売業)
- 移動販売車の増加で客足遠ざかっている。(小売業)
- 店頭売り4割、インターネット6割の業況。目玉商品等にて集客図る。(小売業)
- 特殊要因で売上増加、今後の通常稼働は同業者との差別化で強化する。(サービス業)
- 中古車販売は順調であるが、新車販売は伸び悩んでいる。(サービス業)
- テレビ放送等の影響も有り、町外からの来店客増加傾向。(サービス業)
- 固定客中心に安定した稼働状況。成人式の貸衣装の予約も順調。(サービス業)